

「暗闇の力から救い出し、御子のご支配に移された」

コロサイ 1 : 13

堀田修一 25・2・23

私は、神から三つの教会の牧会を任せられ、主の憐みで牧会を続けさせていただいています。私に与えられた牧会のライフワークのテーマは、聖書が教える「支配」についての考察です。問題の根に支配が。

I 「御父は、私たちが暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました」：13。前節で「光の中にある」と言われている今の状態とは対照的に、かつての暗黒の状態がここに指摘される。この「暗闇の力」とは、サタン（悪魔）、罪、死の力のこと。この力は、主に挑戦し敵対したが、主の十字架と復活（悪魔・罪・死への勝利）によって完全に打ち負かされた。それゆえに、現在、主は暗闇の世界に対する支配権を有し、その支配（悪魔、罪、死の支配）のもとにある人間を確実に救うことができになる。人の側の救いの条件は、自分の罪を認めて、その罪のために十字架で死に、復活されたイエス様のみを主（ヤハウエ、神、主人、支配者、救い主）と信じること。主の真の救いの素晴らしさ、深さは、〇〇「からの」救いだけでなく、〇〇「へ、の中に」移される、入れられる恵み。悪いものから救い出されるだけで、良いお方のご支配に移され、入れられなければ、霊的真空状態（ハートの例え）で、また悪いものに戻ってしまうか、もっと悪いものに支配されてしまう（→マタイ12：43～45）。※罪を償い刑務所から出る人に必要なのは、受け入れられる健全な交わりと職場、使命を果たす場。これがないと前にいた悪い支配に引き戻される。私達も同じ。罪、悪から救い出されるだけでなく、御子の愛と義の支配に移し入れられる必要がある。「暗闇（人を支配している罪、永遠の滅びという死、悪魔）の力から」救い出し→「愛する御子のご支配の中に」移してくださいました。何という恵み！「あなたがたは神の御子、私たちの主イエス・キリスト（私たちの恐れやためらいをすべて受け止めてくださる温かい方、傷を負ったままの私たちを受け入れてくださる方）との交わり（そのままの自分を出せる交わり）に入れられました」（I コリ1：9）。「愛する御子」→キリストは、父なる神の愛される最愛の御子、ひとり子（ヨハ3：16）。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」マタイ3：17。父なる神のみこころに完全にかなうのは御子のみ。罪人の私たちは、この御父に愛される完全な御子を通してのみ神に近づける。そして神に愛される。「御子のご支配（原語：バシレイア、王たる事、王位、支配、統治、王国＝主の祈りの「御国」が来ますように）」→キリストの再臨において神の国は完成するが、現在、すでに御国（主の支配）が福音により私たちの心に、全世界に始まり広がっている。「すでに」（救いの恵みを味わっている）と「将来」（救いの完成を待っている）の両面の救い。つまり「愛する御子のご支配」という表現によって、キリストを中心とした聖と光と愛の新しい御国、新世界が紹介されている。「神の国（神のご支配）は、あなたがた（主を信じた者の心、主を信じた者の互いの交わり）のただ中にあるのです」（ルカ17：21）。「移してくださいました」→神は、私たち信仰者たちをこれまで住んでいた暗闇の世界から、ご自分の国へ移された。悪との交わりから神との交わりと神を中心とした互いの交わりの世界へ移された。「彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、こうしてわたしを信じる信仰によって、彼らが罪の赦しを得て、聖なるものとされた人々とともに

(神が支配される救いの御国の) 相続にあずかるためである」使徒26：17-18

II 御子の御支配に移されている恵みの実際、今日的な適用

1. 全人類の代表のアダムが、神に背いた原罪の本質は、神の恵みとまことに満ちた御支配を拒否し、「神のようになろう」と神に造られた自分が「支配者」になろうとした罪です。私は、47年の牧会と全国の相談員として問題の解決の相談を受けるうちに気付かせられたことがあります。それは、各教会(教職者の支配か信徒の支配)、家庭、社会でのあらゆる問題の根は、神ではなく、罪ある人が支配していること。

2. その結果、神との交わりの断絶と人と人との分断が生まれました。恵みとまことに満ちた支配者である神を中心に互いに愛し合う人間関係が墮落し、互いに支配し合う夫婦関係、親子関係、国と国の支配しようとする権力闘争の世となった。「彼はあなたを支配することになる」創世記1：16。愛の代わりに支配が始まる。夫の支配か妻の支配か。親か子の支配か。すべての人間関係に支配が広がる。昔も今も。家庭、職場、学校、大学、病院、会社、テレビ局、芸能界、スポーツの組織、政治権力(あるリーダーが長く支配する、KY、忖度文化が生まれ、正しい意見が言えなくなる、不正を正せなくなる、その支配者が人事権を握る故に正しい意見が言えない、警察、検察、冤罪を生む裁判等の上層部の支配による腐敗、不品行、裏金、パワハラ、匿名による無責任なSNSによる支配、異端、宗教。選挙時の世論の誘導。気をつけたい。聖書を良く読むと、神ではなく、私、私達自身を含む人間の心の中の罪、悪の支配が、多くの問題の根であることに目が開かれる。歴史の中で、迫害の中で聖書が焼かれたのは、国の支配者にとり、国民が聖書を読み、真の支配者である主を信じる時に、国民の目が開かれ、国の支配者、リーダーに「それは間違っています」と健全に勇気をもって発言する人々が増えるから。現在の米、中国、ロシア、北朝鮮、欧州、日本でも健全な国民の結集は国を変える力がある！支配的なリーダー(支配者は人を従わせても、人から信頼されていない)は、個人の敵対者を恐れず殺したりするが、国民の結集の力は恐れている。私達も合法的な方法、選挙等で声を上げ続けたい。多くの献金をする企業に偏らず、弱い立場の人々の声に耳を傾ける政治になるように祈りたい。

3. 主イエスが、この世に来られた目的=罪の支配から人を救い、恵みとまことに満たされた人々が互いに愛し合い仕え合い、人格攻撃、支配ではなく「よく聞き、真実を語れる」対話ができる関係にする為。

①教会も夫婦も親子、すべての人間関係、教会の人間関係で「人を支配しない、支配されない関係、互いに仕え合う、対話ができる関係」を祈り求める。唯一の支配者は主ご自身。主は横暴な支配者ではなく、「恵みとまことに満ちた支配者」。主は私たちをロボットにせず人格を大切にし、祈り、対話を喜ばれる。

②「異邦人の支配者たちは人々に対して横柄にふるまい、偉い人たちは人々の上に権力をふるっています。あなたがたの間では…皆に仕える者になりなさい」マタイ20：25, 26。主が世に来られた目的は、支配し合う共同体ではなく、互いに愛し合い仕え合う共同体を生み出すため。妻と夫へのみことばの前にある夫婦関係の土台のみことば→「キリストを恐れて、互いに従い(仕え)合いなさい」エペソ5：21。このみことばは、親と子ども、しもべと主人、社会の人間関係の土台。はいといいえを言える関係。

③「あなたがたは、代価(主の十字架の血)を払って買い取られたのです。人間の奴隷(人から

支配される者)となつてはいけません」Ⅰコリ7:23。人を支配しない人からも支配されない。主のみが支配者。

- ④ 忖度に支配されず愛をもって真実に健全な「はい」と「いいえ」を言える関係を祈り求める→マタイ5:37。人間関係、夫婦関係、親子関係、社会での関係の最大の秘訣は祈りつつ愛をもって人格と意見を分け、真実な自分の気持ちを正直に語り合い、聞き合える対話の関係を忍耐強く続けることです。本当の願い、気持ちは、言葉にしなければ理解し合うことはできない。真実な会話がないと、すれ違いの関係となります。仮面の夫婦、仮面の親子、仮面の人間関係へ。「はいといいえ」を言っても続く関係を祈る。
- ⑤ 主の祈りの重要な意義:「御国(原語:あなたの支配=神の支配)が来ますように」。罪、悪の支配が追い出され「神の支配が、私の心に、教会に、社会に、全世界の国々に来ますように」との大切な祈り。
- ⑥ 「私たちは、あなたがたの信仰を支配しようとする者ではなく、あなたがたの喜びのために協力して働く者です。あなたがたは信仰(イエス様のみを主、支配者とする信仰)に堅く立っているのですから」Ⅱコリ1:24。

祈り: 私たちが人を支配せず、支配もされず、主に仕え、互いに仕え合えますように!